

新型コロナウイルス感染症対策の実際と課題

～コロナ禍における助産師の役割を考える～

コロナ禍において助産の現場でも前例のない事態に戸惑いながら様々な対策を講じなければならない状況が続いています。半年以上経過し、産後うつが2倍以上増えているという報告も出てきました。

そこで、感染症対策を改めて学ぶとともに、コロナの影響で変化したことや実際の困っていることなどを情報共有し、コロナ禍のその先にある妊娠・出産・子育てへの影響も見据えながら私たち助産師の役割を一緒に考えませんか？

【日時】 2021年2月27日(土曜日) 13時00分～16時15分

【会場】 ZOOM 発信 発信元：講師自宅、福岡県助産師会館

【スケジュール】 受付開始：12：50～

第1部： 13時00分～14時35分

感染症指定医療機関のコロナ対策の実際(90分)

講師：田川市立病院 感染管理認定看護師 植田 裕美子先生

★安全ポイント 1ポイント



第2部： 14時40分～16時10分 シェアリング(90分)

助産の現場での感染症対策の実際 困ったこと・問題点・今後の課題

★安全ポイント 1ポイント

【参加費】 無料

【対象・定員】 福岡県助産師会員 50名

【申し込み方法】

「参加申し込みフォーム」

<https://forms.gle/aYAczXiEf2sez8m99> へアクセス



または
右のQRコードの「参加申し込みフォーム」

または

E-mail: hukuokakinmu2020@gmail.comにて 以下の項目を

- ① 氏名
- ② 会員番号
- ③ 部会
- ④ 連絡先（メールアドレス）
- ⑤ 住所（安全ポイントシール送付先）
- ⑥ コロナの影響により現場で変化したこと（新たに取り入れた感染対策、面会制限など）

※資料の詳細は後日お知らせ致します。

※安全ポイントは後日送付します。

【申し込み締め切り】 2月23日

主催 一般社団法人 福岡県助産師会 安全対策委員会

担当 高崎・福田・中村

お問い合わせ hukuokakinmu2020@gmail.com